助成･寄付寄贈報告

※ 田中治療院さまより：軽自動車の寄付
※ ラインライバー親びんさまより：1万円の寄付（施設の子供たちへのお菓子）
※ マックスバリュー東海さまより：イオンしあわせの黄色いレシートキャンペーンにて　34,200円分の商品寄附
※ 会員さんより：ぬいぐるみ・バッグ等の寄付　　皆様に厚く御礼申し上げます。

研修会･講演会のご案内

◆ **定期研修会「Beサポ事例研究会」**

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第3水曜日 18：30～21：00　　場所：プラサヴェルデ沼津
参加費：Beサポ会員無料、非会員1,000円／1回
参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方はBeサポートまでご連絡ください。
今後の予定：**1/19、2/16、3/16**（新型コロナの影響で、中止・変更の可能性がありますのでご了承ください）
※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Beサポート業務一覧

相談・カウンセリング事業
カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力
母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市・長泉町
市民メンタルヘルス相談　：　伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
県立高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
看護学校スクールカウンセリング
NPO法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業
東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業
沼津市　：　東部圏域　居場所「なごみ」（県委託事業）
伊豆市　：　伊豆圏域　居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業
メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業
専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業
障害児・者総合サポートセンターみつばち
----------沼津市----------
保育所等訪問支援　／　児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
----------伊豆市----------
放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業
指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぽーと」

Beサポート会員募集中

NPO法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志でBeサポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員49名、賛助会員3名（2021.12月末時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方はBeサポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Beサポート

クローバー通信

2022年1月15日発行 Vol.28

NPO法人 臨床心理オフィス Beサポート
〒4100056 沼津市高島町29-11 盟萌ビル201
Tel/Fax 055-925-1701
Mail be-sapo@mail.wbs.ne.jp
HP http://be2011.jimdo.com/
発行責任者　皆川行寛

- 新型コロナウィルス感染症対策として、Beサポートではすべての事業において「手指および室内の消毒」「常時換気」「マスク着用」「検温」等を実施しております -

新年のご挨拶

Beサポート理事長　皆川行寛

新年あけましておめでとうございます。

ご承知の通り、新型コロナウィルスの感染拡大予防のため、楽しみにしていた行事の中止や縮小、研修会・学会の中止やリモートによる参加の増加が続いています。

そんななか、当法人の「心理カウンセリング・心理検査部門」「不登校・引きこもり支援部門」「発達障害児支援部門」「計画相談部門」の各職員は、毎日のように切磋琢磨し、利用して下さっている方々の力になれるよう努めています。理事長として、厳しい状況下で働いている職員の姿を見ると頭の下がる思いです。

そういった日々の職員の仕事への取り組みが認めていただけているのか、近隣市町の教育委員会の巡回相談、乳幼児健診と療育などの委託契約が継続されています。静岡県はじめ、各自治体から自殺対策としてゲートキーパー研修の講師、企業様からはメンタルヘルス相談と講演の依頼もいただいております。コロナ禍の長期化によるストレスがメンタルヘルスに及ぼす影響も心配されるなか、社会的背景からも、我々が今できることは何かを考えながら、地域貢献を継続していきたいと思っています。

一定の質が保証された継続的な地域貢献を実現するためには、職員が安心して働ける環境づくりも、理事長の務めだと考えています。現在勤務してる職員だけでなく、新しい職員の確保のためにも、福利厚生を充実させる取り組みを昨年度に引き続き行いたいと思います。コロナ禍で、当法人も経済状況が不安定となり、厳しい現実と向き合っています。それでも活動が維持できるよう、今後も力を蓄え、コロナに負けない組織づくりを目指していきます。

今年も、感染拡大の対策として、三密対策・マスクの着用・手洗いと手指消毒など、これまで以上にスタッフ一人一人が感染予防に努めなくてはなりません。施設内の消毒作業の徹底や、利用者への健康チェックの協力要請など、感染予防に配慮した対応を行いながら、活動を継続していきたいと考えております。

2022年の干支「壬寅（みずのえとら）」は、冬が厳しいほど春の芽吹きは生命力に溢れ、華々しく生まれる年になるといわれているそうです。干支が意味するように、非常に厳しい感染状況から、新しいワクチンや治療薬が速やかに世界中にいきわたり、パンデミックが終息し、安穏な世界が訪れることを心より願っています。法人の活動も、壬寅にあやかり、更なる成長が遂げられるよう、励みたいと思っています。

皆様にとって、今年一年が穏やかで豊かな年となりますように祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

ゲートキーパー 研修会

ここしばらく開催が見送られていた「ゲートキーパー養成講座」が昨年秋から徐々に開催されるようになり、地元の民生委員さん、社協の方々などを対象に、ゲートキーパーの役割についてお話しさせていただきました。民生委員さんの最重要のお仕事は、一人暮らしのお年寄りなどの自宅訪問です。お話しの聴き方、相談先へのつなぎ方については、すでに承知されていると思いますが、さらに、うつ病、認知症のうつ状態など、やや専門的な情報も盛り込みました。

コロナ禍では地域の自宅訪問が制限され、どう役割を果たせばいいかと葛藤を口にされる民生委員さんがいらっしゃいました。民生委員さんご自身もご高齢の方が多く、役割を十分に果たせないことでストレスや喪失感を感じていらっしゃるかもしれません。

地域のお祭りや体育大会などの行事もことごとく中止となり、地域のつながりがここ2年で急激に薄くなっています。せめて、ご近所さんと顔を合わせたら気軽に挨拶し合える身近なつながりを大切にしたいものです。また、ご自身のメンタルヘルスのために、良質な睡眠と規則正しい生活、コロナ禍でもできるストレス解消を実践していただければと思います。

活　動　報　告

障害児・者総合サポートセンターみつばち「あんず」

あんずの元気いっぱいの年末年始をお伝えします。

12 月、あんずではクリスマスツリーを制作しました。段ボールの三角形の材料をベースに色とりどりに仕上げました。そしてみんなで作ったツリーを集めて、1 つの大きなツリーに見立てて壁面を飾りました。

クリスマス会では、手作りしたベルやたいこやタンバリンで演奏していると・・・サンタさんがやってきてくれました！スペシャルゲストの登場に、真剣すぎて意外と言葉がでない子どもたち。一緒に演奏したりプレゼントをもらったり写真を撮ったり、ワクワクドキドキの瞬間でした。ありがとうサンタさん！

1 月になり、コマや風船羽根つきやお餅つき遊びなど、正月の遊びをしています。ビニール袋を使った凧あげは、走り回って活気がすごい。元気が寒さに勝っています。今年が頑張りたい事は何かな？おこりんぼしない、ありがとうを言う、等々子どもたちから素敵な言葉がたくさん出てきました。

障害児・者総合サポートセンターみつばち「かりん」

2021 年秋、利用者様のご家族と施設長からの寄付で、子ども用の自転車 2 台がかりんにやってきました！1 台は補助輪つきなので、自転車に乗ったことのない子も安心です。自転車がやってきてからというもの、子どもたちは外遊びの時間がやってくるのが楽しみなようで、「外遊びの時間まだ？」と尋ねてくる子が以前よりも増えたように思います。これまで自転車にほぼ乗っていない子たちは、ペダルを逆方向にこいでしまうことが多かったので、補助輪つきの自転車でペダルのこぎ方の練習をして、自転車に慣れるところから始めました。

また、バランスを取るのが苦手で、あまり上手に乗ることができない子も多いのですが、来所のたびに少しずつ、少しずつ練習を重ね、その子なりのペースで上達してきています。全く乗れていなかった子が、短期間でほぼ完璧に乗りこなせるようになって、スタッフが驚かされることもありました！

順番やルールを守る練習もしながら、これからも自転車には大活躍してもらう予定です！

障害児総合サポートセンターみつばち伊豆「みかん」

12 月 24 日（金）に、みかんで初めてのクリスマス会を開催しました。午前中は、通常通り冬休みの宿題に取り組んで、午後からの開催でした。昼休みを少し短くして、子どもとスタッフ全員で、部屋の飾りつけやテーブルセッティングを行いました。準備から、ワイワイと楽しい声が響きます。

クリスマス会では、子どもたちに、1 人 1 役をお願いしました。司会や初めの言葉・終わりの言葉など、少し緊張する子どもたちの様子が新鮮です。ゲームはクリスマスバスケットで盛り上がり、汗ばむほどでした。そのあとの工作は、打って変わって皆真剣。集中して、おしゃべりもせずに、クリスマスのプラ板のオーナメントを作っていました。

そして、お楽しみのおやつタイム。特別にシャンメリーで乾杯です。かわいいサンタクロースの乗ったケーキを食べて、みかんのサンタさんにクリスマスプレゼントをもらいました。 ⇒

活　動　報　告

県委託　伊豆圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「とっこ」

とっこでは 10 月に緊急事態宣言が解除されてから、雑誌や写真を見ながらのトーク、アクリル板越しに行うボードゲーム、手芸、狩野川沿いの紅葉散策、クリスマスの華道三種生けなど、利用者さんのペース、希望を尋ね、ご家族の協力を得て活動してきました。コロナ禍でどんなことができるかな、利用者さんが安心できる居場所やワークは何だろう、ずっと考えてきた気がします。そんな落ち着かない世の中で、次のステップに進みながらとっこの暖簾制作を続けてくれる利用者さんは、「家で刺繍をしてみます。」と提案してくれました。そして難関を突破して感動の就職内定の電話をかけてきてくれた元利用者さんは、明るく堂々と「違う視点で物事を考えられるようになりました。」と教えてくれました。お二人のとっこへの気持ちを嬉しく感じています。さらに関係諸機関の皆さまが利用者さんのために調整して下さることが有難い時期でした。とっこの紹介を広報に載せて下さったり、お借りする施設で活動がスムーズに行えるよう場所や設備を配慮して下さったり。スタッフだけの力ではとっこは運営できないと実感しています。

年末に、「みかん」を利用する子どもさんたちが育てて収穫した大根を使って、切り干し大根の試作に取り組んでみました。まだみんなで味わうには時間がかかりそうな世の中ですが、季節の香りや歩みを一緒に楽しめることが嬉しいと改めて思います。新しい年も、地域に支えられながら、どんな時勢でも、利用者さんそれぞれの目標に寄り添って信頼される居場所設営を探っていきます。

県委託　東部圏域の不登校ひきこもり支援　居場所「なごみ」

居場所「なごみ」は、新型コロナウイルス感染予防対策の緊急措置が解除になった 10 月より再開しました。室内の換気や利用者さんやスタッフは検温と手指の消毒を徹底し、感染予防に努めていきます。

さて、「なごみ」の活動風景ですが、10 月は、ハロウィンに向けてガーランドを作り、部屋に飾り付けました。背の高い利用者さんたちに飾りつけをしてもらいました。また、ハロウィンパーティーでは、パイ生地シートのクロワッサンたい焼きを作りました。パイシートとたい焼き器のサイズが合わなくてあんがはみ出すハプニングもありましたが、おいしくいただきました。

11 月は沼津御用邸の菊花展へ公共交通機関（バス）に乗って出かけてきました。見事な菊が展示されている中、御用邸を散策しました。ちょうど良い気候で、過ごしやすかったです。また、コロナウイルスの感染防止を願って買った「あまびえ」のジグソーパズルを利用者さんとスタッフで取り組みました。なかなかピースがはまらず苦戦しましたが、3 回目で完成させることができました！一日も早く新型コロナの収束を願っています。

12 月はやはりクリスマス！みんなでクリスマスツリーを飾りつけ、日程の都合で 1 週間早くクリスマスパーティーを行いました。また、三種のベリーを乗せた手作りのクリスマスケーキもおいしくいただきました。

この間、新しい利用者さんや見学者の方が増え、居場所への関心が高まっていることを感じます。

⇒　会が楽しかったのはもちろんですが、皆の前に立ち話す姿や、気持ちよく手伝いをする姿に、子どもたちの成長も感じることのできた嬉しいクリスマス会でした。

ありがとう！

LINELIVE（ラインライブ）を通してリスナーさんから頂いたポイントを福祉施設に寄付する活動をされている**「ラインライバー親びん」**さんより、1 万円のご寄付をいただきました。施設の子どもたちへのお菓子に代えさせてもらいました。

ありがとうございました！！